

第2回
住民と議会のカタリ場 ～未来会議～
実施報告書

令和3年2月
添田町議会

目 次

1	はじめに	・ ・ ・ ・ ・	P 2
2	概 要	・ ・ ・ ・ ・	P 3
	(1) 開催日時と会場		
	(2) 参加者数		
	(3) 担当議員		
	(4) 次第		
3	カタリ場～未来会議～のふり返り	・ ・ ・ ・ ・	P 4
	(1) 当日の内容		
	(2) 各会場の報告		
	・ 中元寺公民館		
	・ 彦山地区総合センター		
	・ 津野公民館		
	・ オークホール		
4	今後の取り組み（重点項目）	・ ・ ・ ・ ・	P 2 0
5	おわりに	・ ・ ・ ・ ・	P 2 1
6	添付資料	・ ・ ・ ・ ・	P 2 2
	① 当日配布資料		
	② アンケート集計結果		

1 はじめに

前年度に引き続き、第2回「住民と議会のカタリ場 ～未来会議～」を開催したところ、多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催時期や人数などを検討し、感染症防止対策を講じて実施しました。会場数も、昨年1会場から4会場へと増やして町内各所で開催し、参加人数を制限した中、4会場で69名のご参加をいただきました。

限られた時間の中ではありましたが、みなさまが日頃感じていることや地域の課題などを対話の手法を用いてしっかり聴くことができました。また、ご参加いただいたみなさまにも満足いただけたことがアンケート結果からもわかりました。

いただいた意見の中で継続して調査研究が必要なものについては、各常任委員会で引き続き、その課題に取り組んでまいります。

また、今回の反省点を活かしながら次回開催に向けて努めてまいりますので、今後とも「住民と議会のカタリ場～未来会議～」へのご参加をお願い申し上げます。

令和3年2月

添田町議会 議長 畠田 勝 廣

2 概 要

(1) 開催日時と開催会場

- ・令和2年10月13日(火) 19時00分～20時45分 中元寺公民館
- ・令和2年10月14日(水) 19時00分～20時45分 彦山地区総合センター
- ・令和2年10月15日(木) 19時00分～20時45分 津野公民館
- ・令和2年10月16日(金) 19時00分～20時45分 オークホール (1階)
19時00分～20時45分 オークホール (2階)

(2) 参加者数

- ・中元寺公民館 15名
- ・彦山地区総合センター 14名
- ・津野公民館 14名
- ・オークホール 26名

新型コロナウイルス感染症対策のため、各施設の定員を定め参加者を募集しました。

(3) 担当議員

会場	総務文教							産業厚生						
	議長	委員長						副議長	委員長					
	畠田	小川	永沼	緒方	久保田	武貞	白石	合戸	中嶋	高瀬	吉木	岩本	山本	
中元寺公民館	○					○	○			○	○			
彦山地区総合センター				○				○	○				○	
津野公民館		○	○		○							○		
オークホール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

各会場に担当議員を配置し運営しました。

(4) 次第

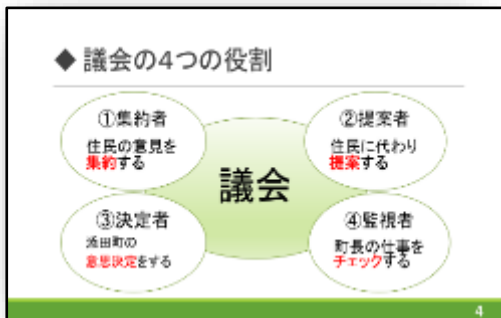
- ・開会
- ・議会からの報告1
議会の役割「議会って何するの？」
- ・テーブルトーク1
「あなたが町、議会で気になっていることは何ですか？」
- ・議会からの報告2
議員定数について
- ・テーブルトーク2
「聴かせて、議員定数のこと」
- ・アンケート
- ・閉会

3 カタリ場～未来会議～のふり返り

(1) 当日の内容

① 議会からの報告1「議会って何するの？」

議会の仕組みや4つの役割について、添田町議会で行った活動を事例にして説明をしました。



※当日資料抜粋

② テーブルトーク1「あなたが町、議会で気になっていることは何ですか？」

参加者が発言しやすいようにグループに分かれてもらい、対話を行いました。各テーブルで出たさまざまな意見や提案に、参加者同士で考えたり議員が回答や説明を行ったりしました。最後に発表の時間を設け、各グループで話し合ったことを共有しました。

いただいた意見や提案の内容は、次ページからの「各会場の報告」に記載しています。なお、ご意見に対する議会からの回答や説明はその場で行ったものと後日に調査して行ったものがあります。

③ 議会からの報告2「議員定数のこと」

これまでの添田町の議員定数や、定数を検討することを決めた経緯を説明しました。その中で、令和2年9月に実施した定数に関する「町民1,000人アンケート」の集計結果を報告しました。

2 これまでの本町議会での定数検討は

- ①平成23年3月「議会のあり方を考える特別委員会」設置
平成25年6月 結論：現状維持
内訳(13人7票、12人5票、15人で報酬減1票)
- ②平成27年7月「議会改革調査研究特別委員会」設置
平成27年10月 結論：現状維持
内訳(13人9票、12人4票)

3 令和2年3月「添田町議会議員の定数調査特別委員会」を設置

- ① 令和2年3月から9月まで計5回の委員会を開催
工程、実施内容について検討
- ② 8月 リモート研修を実施(講師：廣瀬克哉先生)
- ③ 9月 1000人にアンケートを実施
- ④ 10月 住民との対話、団体との対話を実施

※当日資料抜粋

④ テーブルトーク2「議員定数のこと」

他の自治体との比較など定数に関する参考資料を見てもらいながら、参加者みなさんの率直な意見を聴きました。その内容は別途、添田町議会議員の定数調査特別委員会の報告書に掲載します。

(2) 各会場の報告

・中元寺公民館

① 概要

- ・日 時 令和2年10月13日(火) 19時00分～20時45分
- ・参加者数 15名
- ・担当議員 5名(畠田勝廣・吉木清文・高瀬知恵子・武貞誉裕・白石雄二)

② テーブルトーク

3つのグループを作り対話を行いました。

グループ1	参加者5名 議員2名(畠田・白石)
グループ2	参加者5名 議員2名(吉木・高瀬)
グループ3	参加者5名 議員1名(武貞)

③ 会場の様子



④ 意見とその対応

◆議会・議員の活動

内容	回答
議員(議会)の仕事が見えない	さらに見える化を進めます。傍聴も可能で、議会だよりやホームページでお知らせをしています。
各説明会など議員の出席が少ない	基本、議員全員に周知をして努力しています。
コロナ対策の生活支援は議会の提案なのか	議会からの意見を取りまとめ、2度提案しました。
対話の中から住民の意見を反映していない	これからも対話を継続し努力していきます。

◆商工業

内容	回答
歓遊舎は昔の面影がなく、買い物客が少ない	周辺に類似施設ができ、昔とは状況が違ってきています。それでも改善できるよう執行部と努力していきます。
特産品がない。サイダーが高い。営業能力が無い	柚子こしょうや数多くの農産加工品、民芸品、新鮮な野菜は魅力ある特産品です。サイダーは他のご当地サイダーと格差はありません。町を挙げての宣伝が必要です。

◆観光・活性化

内容	回答
年間行事に空きが出ている(ふる里まつりなど)	新型コロナウイルス感染症防止のため自粛で、今後は状況を見極めて対策を講じた上でのイベント開催を求めます。

◆有害鳥獣対策

内容	回答
鹿とイノシシを駆除してほしい	令和元年度の駆除数は鹿493頭、イノシシ217頭です。今後も努力していきます。

◆健康・医療

内容	回答
町からコロナは出たのか	県は町名の発表はしていません。議会への報告もありません。

◆道路・河川維持

内容	回答
民地から道路脇にかけて草が生えている	原則、所有者の管理となります。通行の妨げになるなどの場合には、役場に対応することもあります。
佐久間自動車の所の崖がいつまでも工事しない	対策範囲が民地のため、工事による対応は地権者と内容を十分検討する必要があると認識しています。

◆交通(JR、バス)

内容	回答
添田駅は駅舎とホームが遠い、BRTは……	福岡県日田彦山線沿線地域振興推進協議会で検討しています。

◆学校のこと

内容	回答
学校は建て替わるのか。場所はサン・スポーツランドなのか	これまでの経緯と今後の予定を説明(令和7年頃完成予定を説明)。場所は中学校跡地に建て替え予定です。

◆役場職員のこと

内容	回答
人口は減っているのに職員が多すぎる	事務事業量調査をした上で配置をしていますが、その事務事業そのものの検討も必要です。

◆その他いただいた意見

施設廃止はさみしい。営業努力を
赤字施設をすぐ民営化する。役場の努力不足
添田町は衰退の一途
職員の意識改革を
旧役場職員が話すと、余計なことを言うと言われる
役場職員も町長も、やる気がないように見える
役場と町民に思ったより距離がある

.....

・彦山地区総合センター

① 概要

- ・日 時 令和2年10月14日(水) 19時00分～20時45分
- ・参加者数 14名
- ・担当議員 4名(合戸精一・緒方裕子・山本文隆・中嶋浩二)

② テーブルトーク

2つのグループを作り対話を行いました。

グループ1	参加者7名 議 員2名(中嶋・山本)
グループ2	参加者7名 議 員2名(合戸・緒方)

③ 会場の様子



④ 意見とその対応

◆議会のこと

内容	回答
委員会の数はいくつあるのか	常任委員会（総務文教・産業厚生・議会広報）が3つと、議員定数調査特別委員会が1つ、そのほかに議会運営委員会があります。
議会と町民の関係は	議会は住民の代表として、住民の声に応えなければなりません。
他町村の議員定数が知りたい	当日配布した資料のとおりです。 ※この報告書の26ページに掲載しています。

◆議会・議員の活動

内容	回答
議会は年何回開いているのか	定例会が4回、必要に応じて臨時会があります。
議会の成果を数値化を	現時点では困難ですが今後は検討したいです。
住民の思いを議員がまとめ公表してはどうか	カタリ場等がその場にあたり、ホームページで公表を予定しています。

◆観光・活性化

内容	回答
県内の紅葉ナンバーワンが英彦山なので、観光・活性化策の一つになるのではないかと	秋だけでなく、一年を通して楽しく遊べるようなまちづくりを提言していきます。
歓遊舎横の公園整備を	JRのBRT復旧に伴う整備計画と併せ検討を行うよう要望します。

歓遊舎横の彦山川の遊び場を有効に使ってはどうか	夏のシーズンには多くの家族連れで賑わうので歓遊舎や観光客の誘致に繋げたいです。そのためにも駐車場の拡幅が求められます。
-------------------------	---

◆防犯

内容	回答
防犯灯申請に必要な九電の電柱番号が分からなく困っている	九州電力に連絡すれば調べていただけます。

◆防災

内容	回答
災害復旧は現状維持の復旧では、また災害がおきるのでは	原型復旧でないと国・県の予算がおりません。
スピーカーが聞こえない	スピーカーは今後も検討をしていきます。また、戸別受信機を令和3年度設置予定です。

◆健康・医療

内容	回答
クアハウスが3年後になくなるか	現在の使い方は3年後までです。

◆道路・河川維持

内容	回答
国道、県道、町道など道路の維持管理で町の対応がよくない	軽微な維持は早急に対応できますが、大規模工事は手続きに時間を要しています。具体的な案件があれば改善に取り組むよう要請しました。
英彦山への道路整備を	前向きに検討。銅の鳥居からは用地の登記等で苦慮しています。

◆交通(JR、バス)

内容	回答
BRT(高速バス輸送システム)の内容を教えてください	専用道路を走るバスです。具体的な計画はこれからになります。

◆町の方針

内容	回答
しゃくなげ荘の活用は	今のところ特になく、跡地の利活用は検討中です。

◆人口減少

内容	回答
人口減少対策は	対策は講じていますが厳しい状況は続いています。
添田町も彦山地区も高齢化と人口減少、町も地区も人口減で将来が不安	今後も住民の皆さんと一緒に考えていきます。

◆その他いただいた意見

防犯灯の申請手続きが大変
対話の機会を多くし、町民の意見を吸い上げる仕組みづくりを
議会広報の文字数が多く小さくて読めない
光ケーブルが活用されていない。もっとリモートで活用すべき
日本の添田町の英彦山を誇りに思っています
英彦山巡礼路をつくってください

・津野公民館

① 概要

- ・日 時 令和2年10月15日(木) 19時00分～20時45分
- ・参加者数 14名
- ・担当議員 4名(小川浩一・久保田実生・永沼嘉代子・岩本 正)

② テーブルトーク

3つのグループを作り対話を行いました。

グループ1	参加者5名 議 員1名(小川)
グループ2	参加者4名 議 員2名(永沼・岩本)
グループ3	参加者5名 議 員1名(久保田)

③ 会場の様子





④ 意見とその対応

◆議会・議員の活動

内容	回答
議員は見には来るけど、その後の反応がない。回答を	可能な限り努力していきます。

◆農林業

内容	回答
就農支援事業、今年度会議がなく、進展がないのはどうなっているのか	就農支援制度を見直し中とのことで、その後を注視し協議していきます。
今年度建設のハウスの利用方法などを明確にしてほしい	新規就農者支援のハウスで、農業研修や営農活動を開始したばかりの就農者の農業経営を支援するために活用すると回答がありました。
農業・林業を基幹産業としているが、どのように発展させるのか	後継者や担い手を育成すると同時に経営の安定化を図るため国の制度事業等を活用し、農業者・林業者の経営支援の推進に努力します。

◆商工業

内容	回答
地域おこし協力隊を3年で帰すのはどうなのか	募集時に任期後も定着するような計画になるよう検討します。
テレワーク可能な小規模企業誘致を	空き家等を活用して誘致を検討します。
町全体として商業をどう考えているのか	本町の商業は小規模事業者が大部分で、商工会との連携を更に強化して新たな起業を支援するとともに、域内消費の喚起に繋がるよう働きかけます。

空き店舗の利用をしてはどうか	空き店舗は町の創業等支援補助金活用を推進します。空き家バンクや定住促進リノベーション支援事業と組み合わせ、定住や起業の促進を図るよう要請します。
----------------	--

◆観光・活性化

内容	回答
自然環境面のPR(宣伝)をしてはどうか	英彦山を中心に、添田町の自然をPRします。

◆有害鳥獣対策

内容	回答
有害鳥獣の被害がすごい。鳥獣忌避の機械を1万円強で販売している。箱罾も5~8万円。町の補助があるとよい	被害相談を受けた現地には箱罾を貸し出しています。忌避の機械は費用対効果の検討を行い、要望に沿うよう協議します。

◆防災

内容	回答
災害時の避難所。下井から公民館までは遠いため、近くのお寺に避難したい。行政から避難所となるよう働きかけを	お寺と住民との話がまとまれば自主避難所として対応します。
上津野は公民館まで遠いため、改善センターに避難している	現在、自主避難所として対応しています。

◆空き家対策・定住

内容	回答
空き家対策は	空き家バンク等で対応していますが増加傾向にあります。

◆高齢者支援

内容	回答
介護保険料が高い	介護保険料は県の広域連合で3年に1度見直します。今後も地域支援事業や介護予防事業などを推進することで介護給付費を抑制し、最終的に保険料の負担軽減になるよう努めます。
買い物支援は元気クラブの日に合わせて業者に来てもらうなど、集まる場を活用できないか	スーパー等事業者の協力が困難な状況であるが協力を求めます。

◆道路・河川維持

内容	回答
道路横の支障木を切してほしい。車(ダンプ)が中央線を越えてくる。地元で承諾書まで得ているのに業者が動かない	県道・町道で対応が異なりますが、町道であれば管理上必要な範囲で対応するとの回答を得ました。
雨天時、道路が川のようになる。側溝の掃除をしてほしい(畑の大きな橋の近く、中央公民館のカーブ)	県道英彦山添田線であるため、県に伝えるとの回答を得ました。
県道は道路対応を即座にしてくれるが、町道は穴があいて連絡をしても対応が遅い	現地調査・確認は迅速に行い、危険性、緊急性を考慮して早急な対応を要請しました。

◆交通(JR、バス)

内容	回答
まちいこカーの前日予約は不便。当日でも可能にならないか	重点項目として今後も検討していきます。
各種バス(福祉、スクール)に誰でも乗れないのか。可能であれば無駄にならない	重点項目として今後も検討していきます。

◆学校のこと

内容	回答
企業誘致などで津野の学校の再利用を	跡地の活用については、今後の検討課題となっています。

◆人口減少

内容	回答
町内の人口減が激しい	対策は講じていますが厳しい状況は続いています。

◆その他いただいた意見

町民の職業が限られる(働く場が少ない)
町民の高齢者率が高い
子どもが少ない
道路を整備したら観光にもいい
花農家の少ない津野は、花栽培に適している。フェイスブックなどで福岡に集中しアクセスしている。息子も後継者として頑張っている
添田町は今後自営で生活しているのか

・オークホール

① 概要

- ・日 時 令和2年10月15日(金) 19時00分～20時45分
- ・参加者数 26名
- ・担当議員 13名(全議員)

② テーブルトーク

密を避けるため、会場を1階と2階の会議室に分けて対話を行いました。

1階

グループ1	参加者4名 議 員2名(畠田・小川)
グループ2	参加者4名 議 員2名(吉木・高瀬)
グループ3	参加者4名 議 員2名(山本・永沼)
グループ4	参加者4名 議 員1名(武貞)

2階

グループ1	参加者3名 議 員2名(中嶋・久保田)
グループ2	参加者3名 議 員2名(岩本・合戸)
グループ3	参加者4名 議 員2名(緒方・白石)

③ 会場の様子

1階



2階



④ 意見とその対応

◆議会のこと

内容	回答
若い人が添田町をどう思っているか知っているか	総合計画のアンケートなどを通じて把握しています。

◆議会・議員の活動

内容	回答
議会との話し合いの場を時々設けてほしい	現在、対話の場は年1回ですが、今後も検討していきます。
このような場所で話しても、その後どうなったのか解らない	議会だよりやホームページで報告を行っていきます。
話し合いの結果を、せめて区長には伝えてほしい	議会だよりやホームページで報告を行っていきます。区長への報告は検討します。
民意はどこからどんな形で集約するのか	各議員や議会としての広聴活動やアンケートなどで集約します。
民意の集約から提案まで、どういう形で決定するのか	各意見を議会(委員会)の意見とするかどうか検討しています。
議員の方と話が出来ている20・30代は少ないのか	少ないと思います。カタリ場に参加をお願いします。
カタリ場を行うことは良いが、今後いかに生かしていくか重要	これからも対話を継続し努力していきます。

◆農林業

内容	回答
後継者がいない。行政としての取り組みは	地域の担い手確保は、人・農地プランの実質化に向けて地域での話し合いを支援します。
規模農家ではなく、小規模の家族農家への支援を	経営改善計画の作成及び認定農業者の育成を関係機関と連携し支援します。
米価は、自由化以来下がり赤字。国への要望をしてほしい	農業者の安定を図るため、国の水田フル活用や経営所得安定対策の活用を充実させます。
ボランティアで手助けできる仕組みをできないか（新城の「農業を考える会」のような）	国の多面的機能支払交付金を活用し地域農業の共同活動を支援します。

◆商工業

内容	回答
歓遊舎はリニューアルするのか	飲食スペースを変え、BRT 運行で周辺整備を予定しています。
歓遊舎の駐車場が狭い	駐車場の整備は今後の課題です。

◆観光・活性化

内容	回答
他の道の駅との連携で、観光の流れをつくってはどうか	大任や小石原との観光ルートを考え、提案として真摯に受けとめて担当課に伝えます。
英彦山神宮の詳細な説明ができる人の育成（PRを兼ねて）	町内の史跡について人材育成の教育も総合的に検討したいです。
英彦山キャンプ場を町外ではなく町民にアピールしては	町広報等でアピールしています。
添田公園の桜のライトアップ（花見の時）	ライトアップの方法を含め担当課に伝えます。
観光パンフレットを駅や飲食店に	既存の取り組みを更に拡充するよう担当課に伝えます。
英彦山観光の今後の展望、展開は	添田町観光戦略アクションプランや英彦山地区再興整備構想等の計画を策定しており、その実現を目指しています。

◆ごみ処理

内容	回答
大任町のゴミ、し尿施設の具体的説明はあるのか	正式に聞いたのは総額・維持費の負担割合で、具体的な説明はこれからになります。

◆防災

内容	回答
町部は家が密集している。防火水槽がどこにあるかわからない	防災管理課に伝え、説明するように提案します。

◆空き家対策・定住

内容	回答
空き家の状況は	空き家バンク等で対応していますが増加傾向にあります。

◆健康・医療

内容	回答
クアハウスの温泉活用を	地域振興計画として歓遊舎を中心とした資源を生かした再整備が検討されており、既存施設の利活用を含めて検討するよう求めます。

◆高齢者支援

内容	回答
特老などの高齢者施設をなぜ譲渡したのか	民間に譲渡できるものは譲渡するという町の方針です。
<p>特養そえだについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度から民営化するがそのプロセスがダメ、出来レースなのでは ・当初、内部検討が始まったときは民営化ありきではなかった ・利用者、家族への説明会もなく混乱している ・議会の審議はどうだったのか ・地元の社協なので受入れている利用者がある ・これから経営が厳しくなるのではと思う 	<p>▶将来の入所者へのサービスや財政面と施設の老朽化、高齢者福祉の市場状況などから、検討を行い民営化の方針を決定しました。▶有識者の意見も聞いて書類及び面接審査のうえ運営先を決定しました。▶新型コロナの影響から家族等には直接の説明は延期しましたが今後行う予定です。詳細な内容の文書を送付済みとのことです。▶議案は9月議会で施設の設置条例の廃止を審議し、賛否が分かれて賛成多数で可決しました。今後は財産の処分等の議案を審議予定です。</p>

◆道路・河川維持

内容	回答
赤線(里道)青線(水路)の管理や整備は。溝に落ちた人がいた	担当課に伝え、対応を検討しています。
道路を拡張してほしい(英彦山)	国道500号については、県に対して改良要望を行い、事業実施に向けて県と連携し推進を行っているのが現在の状況です。

◆交通(JR、バス)

内容	回答
日田彦山線のその後の計画は	BRT となります。町報、議会だより等でお知らせしていきます。
添田駅はいつ頃変わる(BRTになる)のか	JR 等と協議中です。
JR の線路の活用	福岡県日田彦山線沿線地域振興推進協議会で検討しています。

◆学校のこと

内容	回答
学校統廃合はどうなっている	これまでの経緯と今後の予定を説明(令和7年頃完成予定を説明)。場所は中学校敷地に建て替え予定です。
学校のトイレを和式から洋式に	洋式化の方向で検討していきます。

◆文化財

内容	回答
中島家完成はいつか	令和4年頃に完成予定です。
中島家住宅の活用や進捗状況について行政区に説明を	令和4年頃完成予定で、まちづくり課に地元等で説明するよう提案します。
中島家の今後の利活用(地元住民に説明がない)	まちづくり課に地元等で説明するよう提案します。

◆町の方針

内容	回答
町の第一重点目標は	現在の総合計画では、「豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち」を将来像に掲げ取り組んでいます。
町全体の整備を	それぞれ管理計画に基づき整備しています。

◆町の未来

内容	回答
町民が意欲的に暮らしていく仕掛けはなにか	どう自分事として捉え、住民がまちづくりに積極的に参加しできるか、参加意識を高めることができるかが大事になる。

◆町の財政

内容	回答
各種団体の補助金を見直すべき	決算審査でも指摘しています。今後も検討します。
町の予算の割合は何を根拠に決めているのか	各課からの予算要求や総合計画に基づいて決めています。ただし査定があります。
町内で美化運動をしているが材料費の支給は	出来ることもあるので、役場に相談してみてください。

◆人口減少

内容	回答
人口減少	対策は講じていますが厳しい状況が続いています。

◆役場職員のこと

内容	回答
職員が多すぎる	事務事業量調査をした上で配置をしていますが、その事務事業そのものの検討も必要です。
職員の異動が早すぎる	異動希望調査を参考に町長が判断しています。議会は議長が調整をしています。

◆その他いただいた意見

荷物だけ運べるなど、様々なことでタクシー利用ができないか
敬老会の防災9点セットではなく良いものを1つに
歓遊舎のマンネリ化
他町村の出生数増のやり方をまねてはどうか。糸田町では移住者の交通費を補助している
中島家・中村家だけでは寂しいので、昭和村のようにできないか
町の特色やこれと言ったアピールポイントが今一つない
教育が画一的で特色がない
役場職員と議員との連携が取れていないと感じる
町の職員が町外に住んでいるのはおかしい
町のために行動しているか、意欲のない議員がいるように思う
役場職員はことなかれ主義で町を良くしようとする意欲がない
JRのこと
<ul style="list-style-type: none"> ・説明会が地域限定になり残念。町全体の声を聴いてほしかった ・議会には結論が出るまでの間の行動も、もっとしてほしかった ・BRT ではいつかなくなる。鉄道で復旧してほしかった ・宮崎の高千穂鉄道のように活用できなかったのか
若者が増えない中、高齢者が移住したくなる町づくりを

小さい町なので顔が見えてお互いに支えている町に
高齢者が住みやすい安全性、買い物など優位性あるまちに
親子で住んで良かったと思える町に
子ども達がこの町に生まれて良かったと思える町に

4 今後の取り組み（重点事項）

各会場の対話で出された意見は、分野に分けて検討しています。その中から、特に重点を置いて取り組む事項を決定しました。今後、担当の委員会で問題解決に向けて議論を進めます。また、これらの意見をまとめ、町(行政)とも課題等の共有を図ります。

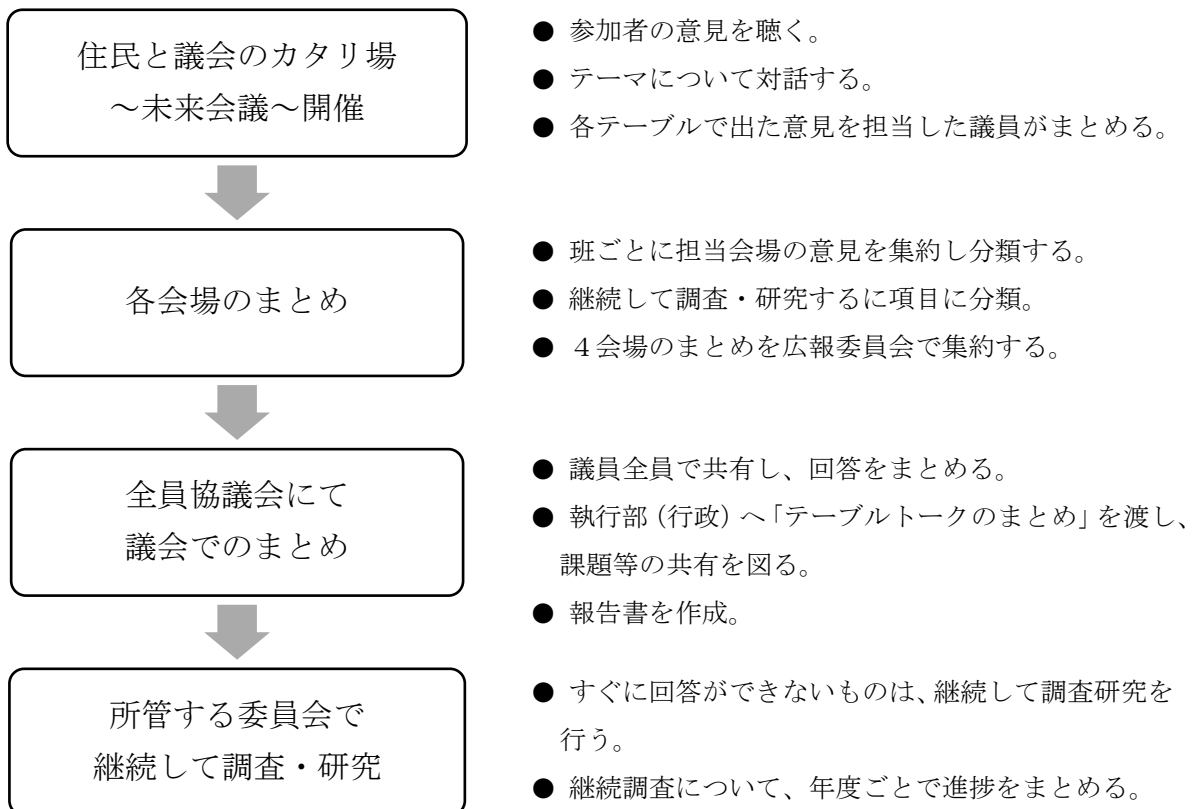
取り組みの結果は、議会広報紙やホームページでお伝えします。

◆重点取り組み事項

- ① 中学校の建て替えと小学校の統廃合
- ② 地域の交通課題
- ③ 日田彦山線の今後（BRT・駅前周辺の整備）
- ④ 歓遊舎ひこさんの今後
- ⑤ 福祉施設のあり方

①②③は総務文教常任委員会、④⑤は産業厚生常任委員会で取り組みます。

◆「まとめ」までの手順



5 おわりに

前回「テーブルの人数が多く、声が聞えない」との意見を多数いただきました。その反省を踏まえ、会場数を増やし、テーブル毎の人数を減らし、今回の開催となりました。前回よりも内容の濃い対話ができただけではないかと思えます。

今回に向けて、講師を招いての対話の研修も実施しました。まだまだ運営に不慣れなところもありますが、継続することで力をつけていきたいです。

また、「昨年度の意見はどうなったのか」との意見もいただきました。聴くことが始まりであり、その後の対応・報告が改めて大事だと考えさせられました。いただいた意見から「重点調査項目」を設定し、対応していきます。執行部（役場）に伝えて対応を依頼するだけでなく、議会として課題にどう取り組むのか考え、その結果をみなさまにしっかりと報告できるよう努めてまいります。

◆未来会議を終えて・・・議員の感想 ※抜粋

- ・ 若い方で添田町政のことに興味があり、しっかりした意見を持っている方がいることに感心した。
- ・ 執行部に対する要望・意見が圧倒的に多く、今後執行部に移動役場等の開催を求め、真摯に住民の意見を聞いてもらいたい。
- ・ 住民の足を集中させず、地域を分けて開催したことは非常に大きかったと感じた。
- ・ 議会にとってもスキルアップのいいきっかけになった。対話を経て町を改善していくことが大事だなということを感じた。
- ・ 町民の方がこのカタリ場の主旨を納得するまで時間がかかったような気がする。
- ・ 対話の場というものに、まだまだ私たち議員自身が慣れていないなと実感した。
- ・ もっと多くの人が参加できる会議にしていきたいと思う。
- ・ 参加者の感想で、議員の仕事がわからないというのが多く、考えさせられた。
- ・ 議会に関心が薄いのではと感じた。内容の検討か再考を。
- ・ マンネリ化しないように会議の進め方やテーマ設定、結果報告など含め次回を検討する必要がある。

6 添付資料

①当日配布資料

◆次第

第2回 住民と議会のカタリ場 ～未来会議～

【次 第】

- | | |
|-------------------|--------|
| (1) 開 会 | 19:00～ |
| あいさつ | |
| (2) 議会からの報告 | 19:05～ |
| 議会の役割 | |
| (3) テーブルトークに入る前に | 19:10～ |
| ルール説明 | |
| (4) 意見交換(テーブルトーク) | 19:15～ |
| フリートーク | |
| 議員定数のこと | |
| (5) アンケート | 20:35～ |
| (6) 閉 会 | ～20:45 |

【トークルール】

- ◇相手の話を聴きましょう
～うんうん、なるほど！～
- ◇ほかの人の意見を否定しないで
- ◇多くの人が発言できるようにしましょう
～話すときは簡潔に～

ご協力をお願いします

メモ



◆議会からの報告 1

添田町議会の役割
 ～議会って何するの？～

第2回 住民と議会のカタリ場～未来会議～2020
 添田町議会

1

◆ 議会とは？

小学校6年生の教科書（抜粋）

「行政がする仕事やその費用は、議会が**話し合い、決定**します。また、これまでの仕事が進んでいるかを**確認**することも大切な役割です。」

2

◆ 議会とは？

日本国憲法 第93条第1項
 「地方公共団体には、法律の定めるところにより、その**議事機関**として議会を設置する。」

議事機関？？
 ⇒ 具体的には4つの役割があります。

3

◆ 議会の4つの役割

4

◆ 例えば・・・中学生との対話から

5

◆議会からの報告 2

議員定数についての経緯

2020年10月 添田町議会

1 地方自治体を取り巻く環境の変化

・近年、地方分権が進む中、地方議会の果たすべき役割、責任は重くなった

議員定数については

- ① 2011年、地方自治法の改正により、人口区分に応じて定められていた議員定数の上限が撤廃された
- ② 現在は、各自治体が条例で定めることに

2 これまでの本町議会での定数検討は

①平成23年3月「議会のあり方を考える特別委員会」設置
平成25年6月 結論:現状維持
内訳(13人7票、12人5票、15人で報酬減1票)

②平成27年7月「議会改革調査研究特別委員会」設置
平成27年10月 結論:現状維持
内訳(13人9票、12人4票)

3 令和2年3月「添田町議会議員の定数調査特別委員会」を設置

- ① 令和2年3月から9月まで計5回の委員会を開催
工程、実施内容について検討
- ② 8月 リモート研修を実施(講師:廣瀬克哉先生)
- ③ 9月 1000人にアンケートを実施
- ④ 10月 住民との対話、団体との対話を実施

4 アンケート結果

回答:1000通の発信に対し 423 通の回答

定数についての質問では

- ・多いと思う…………… 220
- ・現在の人数(13人)でよい… 102
- ・少ないと思う…………… 3
- ・わからない…………… 97

5 議員定数はどう考えますか

議員定数には合理的な基準がない

定数の判断基準は?

- ① 人口
- ② 面積
- ③ 近隣自治体
- ④ 議員の活動
- ⑤ 財政規模
- ⑥ その他

6 参考資料

- ① 議員定数のアンケート集計結果
- ② 本町の議員定数と人口推移
- ③ 近隣自治体及び同規模自治体との比較
(人口、財政規模)

議員定数アンケート集計結果

資料①

1、集計

回答数	423 件	(42.3 %)
不在で返却	5 件	(0.5 %)
返答なし	572 件	(57.2 %)
合計	1,000 件	(100.0 %)

2、内訳

項目		回答数	備考
問1	性別	男性	202
		女性	217
問2	年齢	10代	6
		20代	19
		30代	28
		40代	49
		50代	40
		60代	100
		70代	110
		80代	61
		90代	9
問3	住まい	津野	23
		庄	97
		添田	173
		中元寺	51
		野田	25
		英彦山	9
		落合	29
		榊田	13
問4	議会情報の入手先	議会だより	359
		ユーチューブ	6
		ホームページ	39
		身近な議員	54
		その他	18
		関心がない	40
問5	議員定数	多い	220 (52.1 %)
		現在の13人	102 (24.2 %)
		少ない	3 (0.7 %)
		分からない	97 (23.0 %)
問6	定数の判断基準	人口規模	278
		面積規模	27
		近隣自治体の議員数	31
		議員活動状況	166
		財政規模	177
		その他	16
問7	議会・議員に求めること	行政のチェック	248
		情報発信	170
		生活相談	165
		政策提案	162
		その他	17

注) 各質問とも未記入があるので、回答総数と一致しません。

議会からの報告 2 (参考資料②③)

資料②

添田町の議員定数と人口推移

期 間	定数(人)	住民基本台帳の人口
昭和 34 年 6 月 1 日 ~ 昭和 38 年 5 月 31 日	30	
昭和 38 年 6 月 1 日 ~ 昭和 42 年 5 月 31 日	26	
昭和 42 年 6 月 1 日 ~ 昭和 62 年 5 月 31 日	22	20,441 人 (S42. 5. 1)
昭和 62 年 6 月 1 日 ~ 平成 2 年 6 月 30 日	20	15,878 人 (S62. 4. 1)
平成 2 年 6 月 30 日		解 散
平成 2 年 7 月 22 日 ~ 平成 10 年 7 月 21 日	19	15,241 人 (H2. 4. 1)
平成 10 年 7 月 22 日 ~ 平成 14 年 7 月 21 日	17	13,795 人 (H10. 4. 1)
平成 14 年 7 月 22 日 ~ 平成 18 年 7 月 21 日	15	13,179 人 (H14. 4. 1)
平成 18 年 7 月 22 日 ~ 平成 22 年 7 月 21 日	13	12,375 人 (H18. 4. 1)
平成 22 年 7 月 22 日 ~ 平成 26 年 7 月 21 日	13	11,587 人 (H22. 4. 1)
平成 26 年 7 月 22 日 ~ 平成 30 年 7 月 21 日	13	10,814 人 (H26. 4. 1)
平成 30 年 7 月 22 日 ~ 令和 4 年 7 月 21 日	13	10,097 人 (H30. 4. 1)

近隣自治体及び同規模自治体との定数比較

資料③

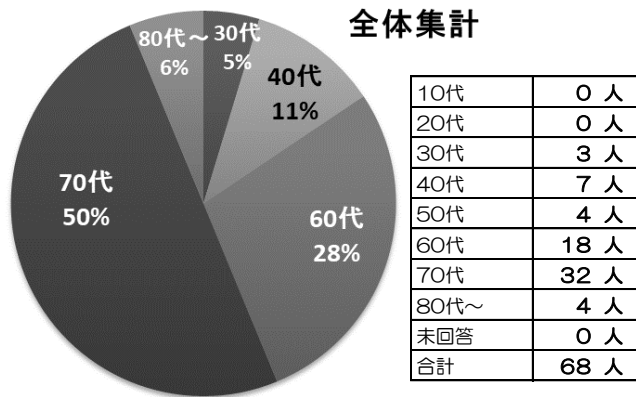
	自治体名	議員定数 (人)	人 口 (人)	議員一人当たり の人口 (人)	財政規模 一般会計予算 (百万円)	議会費割合 (%)
近 隣 自 治 体	添田町	13	10,025	771	6,879	1.4
	田川市	18	47,998	2,666	28,609	0.8
	香春町	13	11,077	852	5,062	1.6
	川崎町	16	16,926	1,057	11,319	1.1
	糸田町	12	9,185	765	5,265	1.7
	大任町	11	5,252	477	5,373	1.4
	福智町	20	23,037	1,151	13,964	1.0
	赤村	10	3,206	320	2,909	2.2
同 規 模 自 治 体	上毛町	12	7,673	639	6,143	1.2
	大刀洗町	12	15,611	1,300	6,729	1.2
	桂川町	10	13,605	1,360	6,156	1.1

(注) 平成 30 年 7 月 1 日現在「町村議会実態調査集計表」より (田川市は除く)

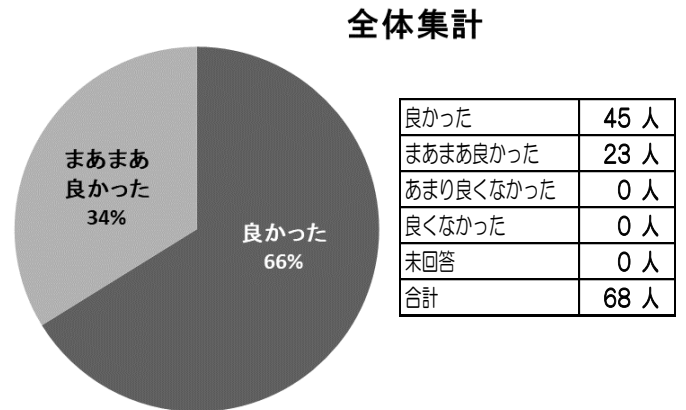
②アンケート集計結果

- ・一般参加者数 69名
- ・アンケート回収数 68名（回収率99%）

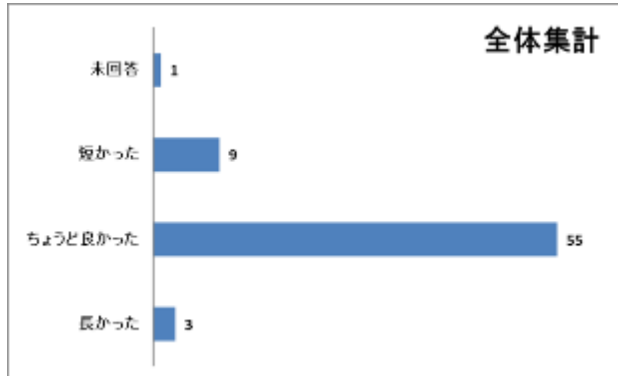
◆年代を教えてください



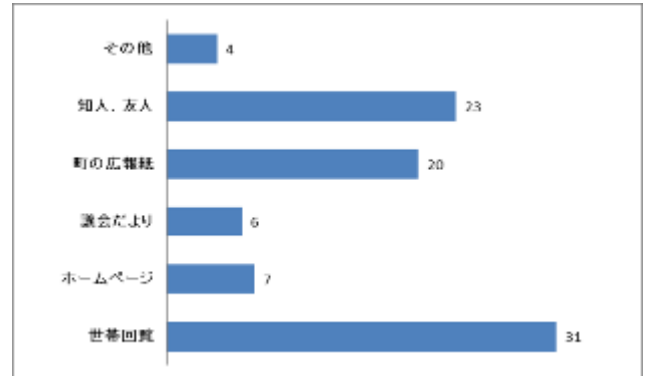
◆本日の会はどうでしたか



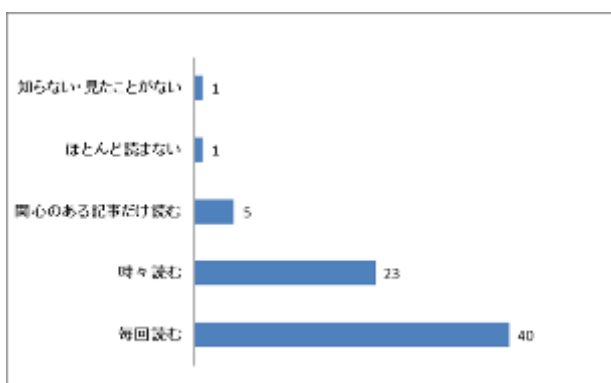
◆時間はどうでしたか



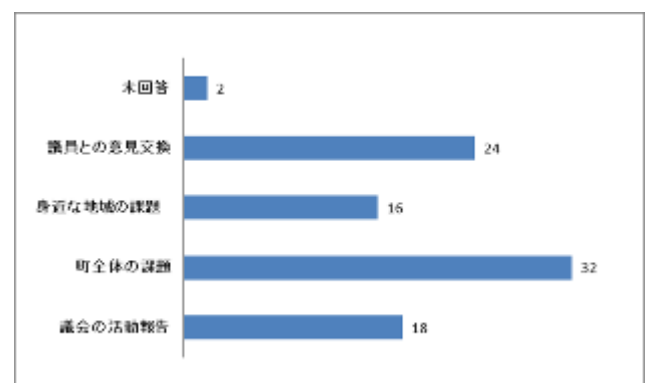
◆本日の会をどうやって知りましたか



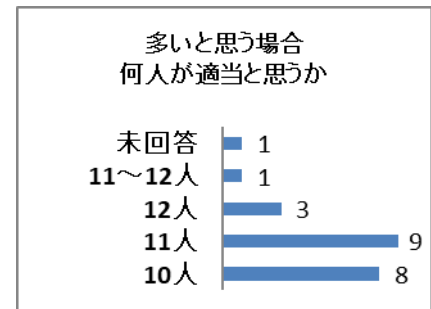
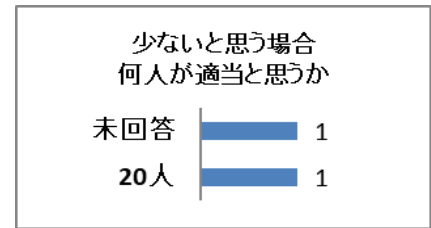
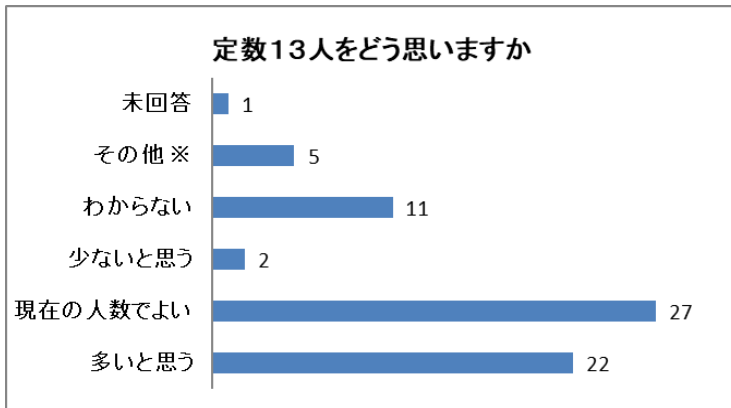
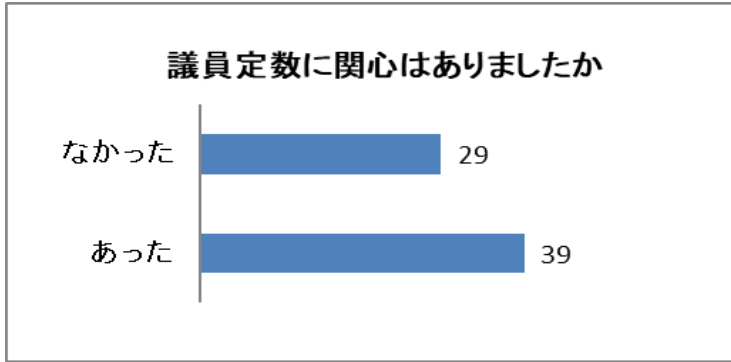
◆議会だよりを読んでいますか



◆今後、開催する場合の内容の希望は

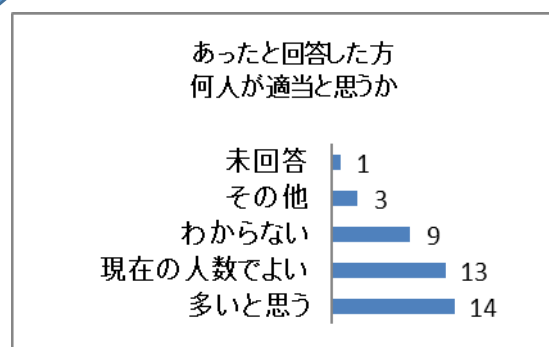
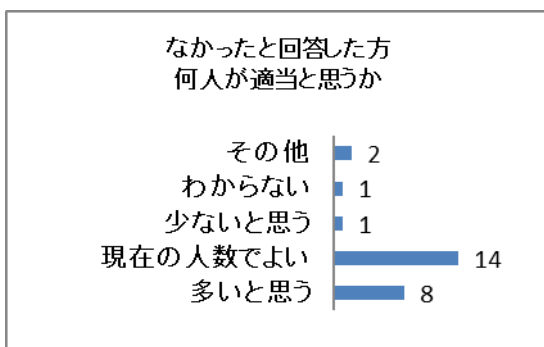
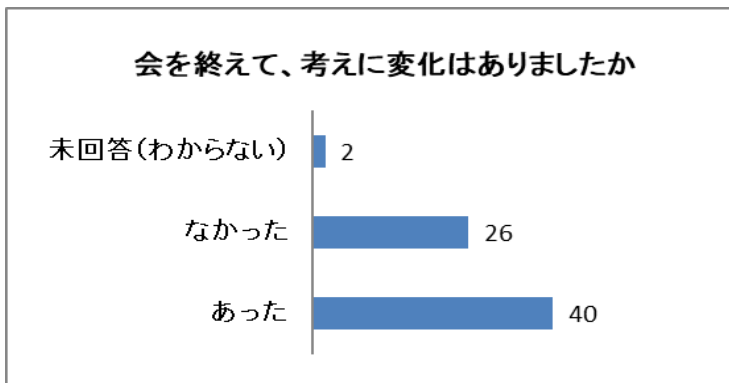


◆議員定数のことについて聞かせてください 複数回答可

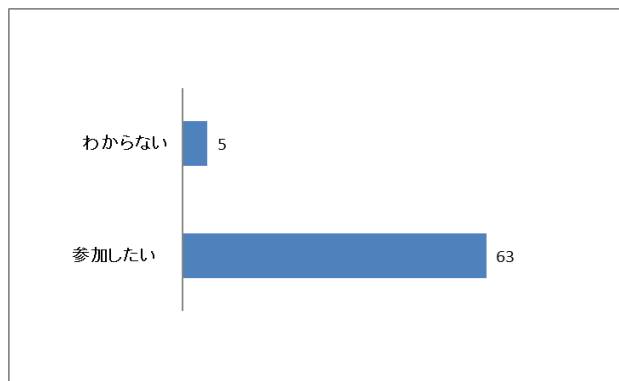


※その他の意見

- ・議員の活動により必要数を決めるのが良い
- ・反対に議員に問う
- ・議員の質と議会の意義を考えるのも大事
- ・仕事内容による。それ次第で人数を決める
- ・議員が決めること



◆今後も機会があれば参加したいと思いますか



◆自由記入欄（気づいた点や発言できなかった事、意見、要望）

中元寺公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ話ができ楽しかったです（30代） ・たくさん勉強になりました。ありがとうございます（40代） ・初めて参加しましたが、楽しい時間でいろいろな事（発想？）を知ることができました。良かったです（40代） ・参加して、いろいろと勉強になりました。ありがとうございました（50代） ・今回の議会とのカタリ場、大変良かったと思う（60代） ・大変貴重な会でした（70代） ・議員さんと身近に話ができ大変良かった。ありがとうございました（80代以上） ・今の添田町をみていると、マイナスのことばかり進めていると思う。しゃくなげ荘、日田彦山線、特養などすべて中止・廃止となっている。私たちの子ども、孫のためには明るい施策をお願いしたい（60代） ・職員が多すぎると思われるので議会が調整してほしい(70代) ・町長の仕事を監視してほしい（70代） ・町を巡回してほしい（70代）
彦山地区総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・定数の法律が分かった（60代） ・初めて参加したが、すばらしい（70代） ・隣組単位で、今日のような会があったらいいと思う（80代以上） ・会社においては目標を数値化する。議会の成果を数値で見える化が望まれる(60代) ・全部に参加できないかもしれないが、今日のような機会は増やしてほしい(70代)
津野公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・議員さんが身近な存在に感じました(40代) ・参加してよかったです。議員さんとのふれあい、良いと思います（60代） ・議員定数は基準が分からないので、あまり議論できなかった(60代) ・ワークショップの形は良いと思う。少しずつ工夫してほしい（60代） ・もう少し時間が欲しかった（60代） ・もっと参加者を増やしたら、もっと意見が聞けると思う(80代以上)

<p>オークホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議員さんがどういう事をやっているかよくわからないのに、また議会が今の状況で間に合っているかどうかもうわからないのにアンケートを取ってもわからないと思う。聞かれた人は多いかなと答えてしまう(60代) ・今後も添田町のために大いに「力」を発揮してほしい(70代) ・おつかれさま(70代) ・町民から見て活動している議員と、そうでない議員の差があり過ぎるのでは(70代) ・町のことがよくわかり、勉強になりました(70代) ・いろいろと参加してしか聞けない話が聞けたので面白かった(30代) ・短かったです。年に何回かやってほしい(50) ・少し勉強してくればよかった(70代) ・少し難しいと思った(自分の考えていることと少し勉強不足)(70代) ・議員さんのまちづくりのビジョンを、各人の考えを知りたいです(60代以上) ・もっと若い人たち(子育て世代の母親や独身の方)とコミュニケーションをとるようにできたら(40代以上) ・集約したら皆に知らせてほしい(60代) ・今回の会に出てきた意見をぜひ今後の町政、議会に活かしてほしいです。もう少し参加者が増えるような工夫をしてほしいです(50代)
---------------	--